

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	ストック効果を高めるアクセス道路（一次）の整備【企業集積地区】										
計画の期間	平成29年度～令和3年度（5年間）				交付対象			静岡市			
計画の目標	都市計画道路恩田原片山線、都市計画道路片山宮川線及び主要地方道 山脇大谷線を整備することで、恩田原片山工業団地内および、その周辺地区の交通渋滞が解消され、アクセスの向上や物流の効率化が期待される。また当該路線の整備により、工業団地における産業用地面積の増加が促進され、地域経済、雇用の活性化が期待される。										

計画の成果目標（定量的指標）	①工業団地内各地検から（仮称）静岡東スマートインターチェンジへの平均所要時間を5分から2，3分へ短縮する。 ②産業用地面積が0haから10haに増加する。 ③工業団地から幹線道路（国道150号）への所要時間を22%短縮する。										
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)	
① 工業団地内各地点から（仮称）静岡東スマートインターチェンジへの平均所要時間を測定する。	5分		2分	
② 産業用地面積を調査する。	0ha	2ha	10ha	
③ 工業団地から幹線道路（国道150号）への所要時間の短縮 (現在の所要時間-将来の所要時間)/現在の所要時間	0%		22%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	6,794百万円	A	6,794百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	---	---	---	-------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期				
市内部（事業関係課による横断的な検討体制）において評価を実施した後、学識経験者等の第三者で構成される静岡市公共事業評価委員会による審査を実施する。						令和5年度 公表の方法 委員会での審議結果等を市のホームページに掲載する。				

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H29	H30	H31	R2	R3			
A01-001	街路	一般	静岡市	間接	組合	区画	改築	(都) 恩田原片山線整備事業	道路改築、L=513m、W=16m	静岡市						575		
A01-002	街路	一般	静岡市	間接	組合	区画	改築	(都) 片山宮川線整備事業	道路改築、L=688m、W=17m	静岡市						627		
A01-003	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	改築	(主) 山脇大谷線（小鹿・宮川）	バイパス L=1.5km、W=25m	静岡市						5,200		
A01-004	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村道	改築	(市) 中野小鹿線	現道拡幅 L=0.9km	静岡市						80		
A01-005	街路	一般	静岡市	間接	組合	区画	改築	(都) 恩田原片山線整備事業外1路線	道路改築、L=513m、W=16m L=688m、W=17m	静岡市						312		
											小計（道路事業）					6,794		
A2 港湾事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H29	H30	H31	R2	R3			
												小計（港湾事業）						
												合計						
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H29	H30	H31	R2	R3				
												合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	H31	R2	R3		
													合計			

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況														
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・恩田原片山線、片山宮川線の整備を行った結果工業団地から日本平スマートインターチェンジへの所要時間が短縮された。 ・恩田原片山土地区画整理事業により良好な産業用地が創出された。 												
II 定量的指標の達成状況	指標① (工業団地内各地点からスマートインターチェンジへの平均所要時間)	最終目標値	2分	目標値と実績値に差が出た要因	工事に取掛かっているものの、区画整理区域内の想定ルートが全線開通できていないため、所要時間は当初のままとなった。									
		最終実績値	—											
	指標② (産業用地面積)	最終目標値	10ha	目標値と実績値に差が出た要因	順調に区画整理事業が進んだため									
		最終実績値	10.3ha											
	指標③ (現在の所要時間-将来の所要時間)/現在の所要時間)	最終目標値	22%短縮	目標値と実績値に差が出た要因	工事に取掛かっているものの、4車線の暫定供用ができる形で整備できていないため、所要時間は当初のままとなった。									
		最終実績値	0%											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・山脇大谷線については一部区間の歩道整備が完了し、安全対策が図られた。 ・中野小鹿線については南側の拡幅が完了した。 												
3. 特記事項 (今後の方針等)														
<ul style="list-style-type: none"> ・恩田原片山線、片山宮川線については順調に進捗しているため、早期の事業完了を目指し整備を進めていく。 ・山脇大谷線についてはアクセス道路が早期に完成するよう現道拡幅部である南側から継続して推進していく。 ・中野小鹿線については補助メニューの移行を行い、北側の早期拡幅に向けて継続して推進していく。 														

計画の名称	ストック効果をも高めるアクセス道路（一次）の整備【企業集積地区】	交付対象	静岡市
計画の期間	平成29年～令和3年（5年間）		

